

## 吉祥寺グランドデザイン2020（仮称）素案意見に対する見解書

- 意見募集期間 令和元年12月16日から令和2年1月6日まで
- 閲覧場所 吉祥寺まちづくり事務所、まちづくり推進課、各市政センター、吉祥寺図書館。市HPに掲載。
- 意見書 計21通

※内容により、1通のご意見の項目ごとへの分類、要約を行っています。  
 ※「吉祥寺グランドデザイン2020（仮称）素案」に関するご意見への対応を示しています。

No.	素案ページ	項目	意見内容	対応方針
1	1	改定の目的・視点	改定の目的・視点②について ・「吉祥寺人」の具体的な定義を脚注などで説明すべきだ。どこまでを範囲とするのか、吉祥寺人とするのは、どのような意図や意義によるのかを説明してほしい。	吉祥寺のまちづくりにかかわる人すべてを「吉祥寺人」としてあります。表現を工夫します。
2	改定の目的・視点②について ・「吉祥寺人」とは？「吉祥寺人」の定義が曖昧で対象者が誰であるかわからない。グランドデザインを「吉祥寺人による、吉祥寺のためのまちづくりのコンセプトブック」と位置付けるのであれば、「吉祥寺人」が誰であるのかを明確にしなければ根本が定まらない。			
3	改定の目的・視点②について ・旧グランドデザイン自体も、吉祥寺のためのまちづくりコンセプトを示したものでなかったのか？もし「ブック」とは単に図表や写真等で分かりやすく表現された冊子にするという意味ならば、「旧グランドデザインが記述型で親しみにくいので、市民を含め誰でも分かりやすく企画編集したコンセプトブックを作成する」と書かないと意図が分からない。		ご意見にありますとおり、旧グランドデザインも吉祥寺のまちづくりの方向性を示したものであり、大きな方向性を引き継ぎながら、今回の改定を行っています。文章表記がメインの読み物となっていたため、よりみなさまに身近に感じていただけるようなコンセプトブックとしたいという意味です。	
4	改定の目的・視点②について ・「今後30年の吉祥寺ブランド方向性を定める」ものであるなら、対象にする視点が限定的。生活環境を人だけの視点で限定的に考えるのではなく、今後重要になってくる動物との共生環境も視野に入れるべき。吉祥寺は今後、欧州の様に犬を自然に受け入れるまちに変化することが望ましく、犬を受け入れる環境を整えることが吉祥寺の付加価値となり、人を呼び賑わいをもたらす。		吉祥寺の将来像の中には、人のみならず、まちを構成する様々な要素を含んでおりますので、犬を含め、生き物や緑などの自然も含めた幅広い概念を対象としています。	
5	改定の目的・視点③について ・③の記載は旧グランドデザインにもあり、今回の改定の目的（理由）にはならない。③については、デザインやコンセプトを新たにするというよりも、むしろ、市民やNPO、あるいは地元の商業者などによる協働によるまちづくりの実現が難しいので、改定素案においても、引き続き、方向性やモデルとして指し示す必要があるためではないかと考えられる。		ご意見の通りと考えます。	
6	1	対象区域、エリア区分	アトレ、キラリナをどこに入れるのか、きちんと位置付けて検討すべき。	アトレについてはセントラル及びイーストエリア、キラリナについてはパークエリアに位置付けた上で、検討を行いました。
7	2	吉祥寺グランドデザイン改定の背景等	4つのエリアに分けて話をする前に吉祥寺全体（駅を中心としたまちの問題点、中野や立川とどう差別化するか、高円寺、西荻窪で見直されている良さなどどう対抗するか等）について話をすべき。	4エリアの特色があること自体が吉祥寺の強みでもあり、それらも踏まえて吉祥寺全体についての議論を行いました。表現を工夫します。
8	2	吉祥寺の強み・良さ	現状の分析が今回の報告書では欠落している。「吉祥寺の強み・良さ」を解説し、計画コンセプトの設定につなげていく上では、もう少しわかりやすく丁寧な説明が必要なのではないか。	改定委員会等における議論の場では、吉祥寺の現状にかかわる多くのテーマが話し合われました。表現を工夫します。
9	2		見出しは「（1）吉祥寺グランドデザイン改定の背景」に変更し、従来のグランドデザインにおいて継承すべき点、実現された点、改定素案で発展させるべき点や新たな課題を書いてはどうか？大見出しが「吉祥寺グランドデザイン改定の背景等」なのだから、旧グランドデザインや関連事業、まちづくり活動などの成果に対する大まかな評価的な記述をここで行うのが道理である。大まかにグランドデザインの評価を行い、改定への課題出しを行うべきと考える。旧グランドデザインと改定素案とを、ある程度対比させながら、「吉祥寺グランドデザイン改定の背景」を論述すれば、わかりやすくなる。	吉祥寺の強み・良さ、課題・問題点について、これまで吉祥寺が歩んできた歴史や現状、今後の見通しを含めて表現しています。ご指摘の旧グランドデザインの評価についても、改定委員会等の中では一定の評価を行いました。
10	2		「吉祥寺のように全体で界限性を発揮するまちは、個々の店舗の魅力がまちの魅力にそのまま直結する傾向があります」という文は、誰が言っているのかも分からないし、内容が理解しにくい。この文を含める意味は乏しいので削除してはどうか？	表現を工夫します。

No.	素案 ページ	項目	意見内容	対応方針	
11	3	吉祥寺の課題・ 問題点	地価高騰等の弊害について ・街あげて寺の慈悲を乞いましょう。	「個性的な店舗が存続できる環境づくり」をテーマ別の取り組みに挙げて、その重要性について認識しています。	
12	3		魅力な街の店舗賃料は高くなっていくのは仕方がないので、それ以上の魅力を引き出す店舗の努力が求められるのは必然。若者だけでなく高い年齢の層にも合った店舗も必要。		
13	3		地価高騰等の弊害について ・記載しているのは現状の問題点。「個性的なテナントが出店できるような状態にすることが課題」であると明記されていない。問題意識を持っていないが課題として明記しないのは、何もせず静観するということか？ 吉祥寺の魅力が、地価高騰に伴う固定資産税の引き上げ、地代高騰により失われつつあることは多くの方が認識しており、その問題を解決することこそが「喫緊の課題である」ことを明記すべき。	地価の高騰等については吉祥寺の現状として認識しています。それを受けて、テーマ別の取り組みの中で「個性的な店舗が存続できる環境づくり」や「多様な賃料の床を提供」を挙げています。ご意見の主旨はそこに含まれるものと考えます。	
14	3		地価高騰等の弊害について ・「地価高騰」と「個性的な店舗の減少」の関係性について違和感がある。個性的な店舗がまちの魅力となっていることはわかるが、ここでイメージされている個性的な店舗は、吉祥寺全体に配置しなくても、地価が少し下落するエリアで育むことも考えられる。また、地価が高いエリアで、そこでしか展開できないような世界的なブランドチェーンがあることが、魅力につながっているまちもある。個性的な店舗の立地が困難となっている原因が地価高騰だけではないとすると、地価高騰は、本当に課題なのか。	改定委員会等において、ご指摘いただいた意見と類似した議論が行われました。個性的な店舗の減少が地価高騰だけによるわけではないことが確認されるとともに、やはり資本力のあるナショナルチェーンが一部のエリアに偏って出店されることにより、結果的に以前に比べて個性的な店舗が減少していることは、吉祥寺が抱える課題の一つであるという認識に至りました。	
15	3		地価の高騰とそれに伴いチェーン店が増えすぎているのは吉祥寺をつまらなくしている。地価が高くても香港やシンガポールでチェーン店化しないで魅力を維持している街はある。研究してはどう		
16	3		路線価と課税・家賃の問題について ・デリケートな問題であるが、吉祥寺に活気を取り戻すためには、市、お寺、賃借人みんなが話し合い、歩み寄り、吉祥寺をよくしていこうという意識を持たなければ何も変わらない。	ご意見の通りと考えます。「個性的な店舗が存続できる環境づくり」をテーマ別の取り組みで掲げました。	
17	3		防災性の強化は一刻の猶予も許されない喫緊の課題。30年以内に起こる可能性の高い大地震への対策と30年先の吉祥寺像を描くランドデザインは切り離せない問題なので、ランドデザインの中心に「防災」を置いて良いと考える。	吉祥寺の課題・問題点として「持続可能な建物の維持・更新」の中で防災性の強化について触れており、まちづくりのテーマである「居心地の追求」でさらに受けています。	
18	3		景観整備における最後の景観悪化要素である「看板類の規制誘導」については、課題として最低限記述すべき項目と考える。	「武蔵野市景観ガイドライン」等に基づき、関係者との十分な対話・調整をもって進めていく必要があると考えます。	
19	3		素案に表記される課題が少ない。	改定委員会等における議論の場では、吉祥寺の課題にかかわる多くのテーマについて話し合われました。表現を工夫します。	
20	4		今後の吉祥寺にとって重要なことは、仕事の効率化やテレワーク化などが進むことによって、休日等の過ごし方を含めたライフスタイルが変化することではなからうか。働き方改革のその先を想定して「働き方が変わる、余暇スタイルが変わる」と記すべき。	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。	
21	4		首都圏大地震があった場合、東京は激変し、一極集中の変化など社会は予想外の変化をするだろう。地球環境上サステナブルでありながら印象的な空間・光景をもつ都市、芸術的な建築形態があってこそ楽しい。新しい変化がなければそもそもサステナブル社会は考えられない。	貴重なご意見として賜ります。	
22	4		意識が変わるについて ・「人と動物が共生する社会」の項目を追加。吉祥寺のまち全体を動物の福祉（アニマルウェルフェア）に配慮した共生社会として、他をリードするまちになることを目標に掲げる必要がある。	多様性の受容やダイバーシティ社会の概念の中に含まれるものと考えます。	
23	2,3,4		吉祥寺の課題・ 問題点 社会の潮流	3ページの「（２）吉祥寺の課題・問題点」及び4ページの「（３）社会の潮流」は、「（１）吉祥寺の強み・良さ」の前に移動させてはどうか？	委員会等において、並べ方についてはご指摘の案と両案を検討した結果、吉祥寺の強み・良さと課題・問題点を認識したうえで、吉祥寺を取り巻く社会情勢を考慮し、今後目指すべき吉祥寺のまちづくりを考えることとしました。

No.	素案 ページ	項目	意見内容	対応方針
24	5	今後目指すべき 吉祥寺のまちづくり	まちづくりの考え方を継承するとあるが、アイデア抽出が不足している。	「テーマ別の取り組み」において、継承すべき考え方を含めアイデアを表現しております。
25	5		「新しい視点・魅力」の投入について ・「人と動物が共生する社会」の項目を追記。吉祥寺のまち全体を動物の福祉（アニマルウェルフェア）に配慮した共生社会として、他をリードするまちになることを目標に掲げる必要がある。	多様性の受容やダイバーシティ社会の概念の中に含まれるものと考えています。
26	6	コンセプト	意見募集のこの時期に「コンセプト」の提示が決まらないで良いのか？	委員会等においても議論を行いました。一つのコンセプトに絞れないところが吉祥寺の魅力を表しているとの見解となりました。
27	6		「コンセプト」は将来ビジョン、まちづくりテーマ、ひとのまちに於ける活動において、演出上の方針を策定する方が良い。	貴重なご意見として賜ります。
28	7	まちづくりのテーマ	「居場所の創出」の解説においては、歩き回ることが強調されすぎており、ゆったりと憩いくつろぐ視点が欠けている。したがって、「～歩いて楽しむ～」は「回遊、滞留して楽しむ」とすべき。	「テーマ別の取り組み」において、「滞留空間の確保」を掲げており、回遊性ととも滞留性の重要性も認識しています。
29	7		「居心地の追求」の解説において、ベンチを単なる休息スペースとしているが、街の風景を味わい憩うためのストリートファニチャーであり、オープンカフェはその延長上にあるため、「ベンチ等の休憩スペース」という表現はやめていただき、「まちなかの要所には居心地の良いポケット広場やベンチ等の憩いの空間や・・・」といった表記とすべきと考える。	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
30	7		まちの「居心地の追求」を本気で進めるのであれば景観の規制誘導、看板類の規制誘導は必須の要件である。	「武蔵野市景観ガイドライン」等に基づき、関係者との十分な対話・調整をもって進めていく必要があると考えます。
31	7		障害を持つマイノリティのためのバリアフリーのことやいつ何時に起こるかわからない災害に対するまちの備え、即ち災害や災害時対策が、（小テーマでは触れているものの）もう一つのまちづくりのテーマでないことが不満。	多様性及び災害対策については、全体を通じて関係する箇所への書き込みを行っております。
32	7		「居場所」は物理的な場所だけではなく、「居心地」も設備、機能だけで居心地良くなるものでもない。極端に言えば、設備がなくても人とのつながりがあれば居心地良いこともあるし、そこが居場所になる。設備があっても独りだったり、無機質では寂しいばかり。ぜひ仕組み作りを充実させていただきたい。	ご意見のとおりと考えます。
33	7		テーマ別の取り組みにおいては、その場をどのように活用できるかの、裏付けと事象展開が必要。	貴重なご意見として賜ります。
34	7		まちづくりのテーマ（P.7～P.12）について複数ページに繰り返し同じことを記述しているのはひどい。見出しだけにして、文章を2回繰り返して載せない方が読みやすい。	貴重なご意見として賜ります。
35	7	「街の空気感」を守る、育てるといっても、30年のまちづくりであれば適正な維持・管理・更新が必要となるのは明白。「維持」なのか、「発展」を目指すのか、この辺りが重要な要素となる。特に今後は「環境問題」「防災」については積極的な施策が無いようでは取り残される。	ご意見のとおりと考えます。防災の視点については「エリアごとのまちづくり」にも具体策を掲げました。	
36	7	4つのエリアに分けて街の特色や将来像を描こうという意思は表れているが、「吉祥寺」全体としてどのように捉えていて、今後どうしたいのか、という部分については漠然としている。	吉祥寺ランドデザイン改定の背景等において、吉祥寺全体としての特徴を整理したうえで、まちづくりのテーマ、テーマ別の取り組みを表現しました。そのあとに、エリアごとのまちづくりを整理しました。	
37	8	界隈性の継承・発展	正直なところ、今の吉祥寺にそれほどの輝きがあるようには思えない。個性的なお店もたまにはありますが、ワクワクするほどでもなく、今となってはどの街にもよくある雑貨屋さんだったり、一見個性的でもチェーン系のお店だったり、ハーモニカ横丁でさえ同じような食事を出すお店も多く、見掛け倒しが多いなあと感じることが多い。それに、ただただ人が多く、正直、街を歩くのは疲れるしうんざりすることも。子供を連れて歩こうという気には到底なれない。	貴重なご意見として賜ります。ご意見にある街の魅力や歩行環境の課題等について、今後目指していく方向をランドデザインで示しています。

No.	素案 ページ	項目	意見内容	対応方針
38	8		街に人があふれているが、発見があっても「つながらない」街になっている。「つながり」と「持続性」というキーワードが必要。どちらかという、～ヒト・モノ・コトに出会い、つながる～ではないかと。来街者の方も、いつの間にかその魅力に惹かれ通うようになり、気がつけば吉祥寺の街づくりの一躍を担って、なんて街になると面白い。	ご意見のとおりと考えます。「テーマ別の取り組み」においても、「人と人のつながり」を掲げ、その重要性を認識しております。
39	8		界限性について ・必要発生的な街の形態が各自の意思によってコミュニケーションをはかり界限性を発揮してきた。「最先端都市」「地に足のついたまちづくり」は同時に必要。界限性、居場所性、居心地も個人領域に属するもので自然発生要素が大きい気がする。あまり人為的でない方が発見があり楽しい。	ご意見のとおりと考えます。改定委員会等では、今後は回遊性・滞留性を含む界限性をテーマとすべきとの議論があり、そのように掲げています。
40	9		個性的な店舗が存続できる環境づくりについて ・ここには「市」も必要ではないか？	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
41	9		歴史の再認識・再発見について ・まちの遺伝子を考え大切にする。吉祥寺村は耕作よりも、五日市街道を中心とした物流で栄えてきた街である。焚き木や炭を作って運び、それに使う道具や付属物、通行する人のための食事・・・、それに伴い必要な物を供給する為の商店が発展してきた。吉祥寺の遺伝子は、水道橋の門前にいたころからの商人の魂である。その成り立ちから考え50年前の街づくりがなされ、今の愛される吉祥寺が出来上がったと言っても過言ではない。もう一度遺伝子レベルから見直したまちづくりを今こそ考える時期に来ているのではないか？	ご意見のとおりと考えます。ここでの記載は、あらためて吉祥寺の歴史・起源に触れ再認識しています。
42	9	界限性の継承・ 発展	住宅との調和・共存について ・住民第一主義。吉祥寺が人気の街になったのは、住みやすい、買い物しやすい環境があったから。以前は「うちの街に遊びにおいでよ」「お買い物は吉祥寺で」と言える街だったのに、今は「吉祥寺に来ても別に楽しくないかも？」と言ってしまふほどワクワク感がない。現在でも、街で買い物する人の多くは近隣に住む人であると思う。渋谷、新宿のような大規模な街ではないので、来街者を考えるよりも先にまずここに暮らす人の事を考える方が大切。住んでいる人が好きな街は、来る人も楽しいはず。	ご意見のとおりと考えます。改定委員会等においても「住んでいる人」が中心のまちづくりが前提の上で議論を行いました。表現を工夫します。
43	9		4つのエリアの個性発揮と連携について ・「住宅地と接するイースト、ウエスト、パークエリアにおける特色ある界限性の発揮」のコメントを加え、この各地区それぞれが吉祥寺らしさを創出していく必要がある。	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
44	9		夜に人が居る環境づくりについて ・昼夜を問わず人が集まる環境づくりをするのであれば、同時にトイレの整備も必須。	多くの人が集まる商業地におけるトイレ機能は、回遊性の向上面からも重要な要素であると考えますが、設置や維持管理を含めた十分な議論が必要と考えます。
45	9		夜に人が居る環境づくりについて ・夜の治安維持と環境整備を。吉祥寺は夜が早いと言われているが、そのおかげで治安が保たれている利点も大きい。他の都市と違い住環境が隣接しているので、ナイトタイムの充実も頑張らなくて良い。終電と共に街から人影がなくなるくらいでちょうどよい。大型店舗が閉まってしまつと、現状もトイレが無いために外で用を足したり、嘔吐したりと街がだんだん汚く臭くなってきている。北口にトイレがないのもおかしい。トイレは必要不可欠。	委員会等の議論においても、ナイトタイムエコノミーに関する様々な意見が出されました。ご意見のとおり「夜の早さ」が吉祥寺の良さでもあるということが認識されました。また、多くの人が集まる商業地としてのトイレ機能については、設置は維持管理を含めた議論が必要と考えます。
46	9		新たな文化拠点の形成について ・「既存ホテルや新たなホテルのコミュニティホテル化を進め、市民の晴れの場（宴会場等）の創出や文化活動の拠点としての機能を作り出していく」を加える。	貴重なご意見として賜ります。
47	9		多様な賃料の床を提供について ・現状の賃料高騰が課題であり、理想を追及するだけでなく問題解決に向けての取り組みも併記する必要がある。	改定委員会等においては方向性を示すまでにとどまり、有効な具体策までの議論には至りませんでした。今後も引き続きその方策の検討が必要と考えます。
48	9		多様な賃料の床を提供について ・実現できたら良いが、誰がどうやってできるのか？見通しがあるのかも根拠が不明瞭。	

No.	素案 ページ	項目	意見内容	対応方針
49	11	居場所の創出	バスターミナルの集約化 ・観光地化した吉祥寺だが、バスなどの交通アクセスが弱点で駅に近寄れない。自家用車の侵入を制限するとともに、公共・観光バスだけを許可する「巨大吉祥寺バスタ」を設置したらよと考ええる。公共・観光バスを公道にプールさせないため、交通がスムーズになり交通アクセスが改善されるはずだ。	吉祥寺の大きな課題の一つが交通環境と認識しており、特にバス・タクシー交通について検証が必要と考えています。南口駅前広場の整備を進めるとともに周辺道路のあり方・使い方について更なる研究が必要と考えます。
50	11		バスの運行、災害時の避難路確保を願いたい。	駅北口、南口合わせると相当数のバスが運行されており、バス交通について、停留場の配置を含む検討は継続的に行っています。また災害時の混乱防止対策については東日本大震災以降、毎年3月11日に、事業者・鉄道事業者・交通事業者・行政等により議論を重ね訓練を実施しています。
51	11		吉祥寺通り北向きから井ノ頭通りの時間規制による一般車右折禁止を、実車タクシーのみ規制解除する。バスからも漏れる市民の足の利便性を確保することにより、公平性を補償する。	貴重なご意見として賜ります。
52	11		ペDESTリアンデッキ（歩行者）、地上（バス）、地下（一般車、タクシー）の北口ロータリー三層構造による交通区別化。	駅前スペースの複層(立体)利用については、改定委員会等の議論の中でも話題に上りました。貴重なご意見として賜ります。
53	11		吉祥寺南口の井の頭通り(丸井〜ドンキホーテ)のバス停による交通渋滞問題。バス停を北口ロータリーに集中させるバスターミナルの提案。	吉祥寺の大きな課題の一つとして交通環境の改善があげられます。バス、タクシーの配置について、あらためて検討の必要があると認識しています。
54	11		吉祥寺通りのタクシー乗り場の設置。現在タクシー乗り場が二カ所しかなく買い物帰りの高齢者や子供連れのファミリーが東急百貨店前の横断歩道でタクシー待ちをしている。	
55	11		バリアフリーを前提とした北口ロータリーの開発を推進して欲しい。	北口広場は整備から約30年が経過しています。その後、一部機能更新等の工事は行った経緯がありますが、現在のバリアフリーの基準にのっとり改良していく必要もあると認識しています。
56	11		案内・サインの整備・充実について ・案内板、サインの過剰な街は景観が大きく損なわれる。多様な言語化をするのではなく、ピクトグラムを使ったり、QRコードなど、外国人対応は必要最低限で過剰にせず、モバイル上でもよいのではないかと。それ以前の問題として、吉祥寺の方向性を先に検討しておく必要があると。ターゲットをどこに置くか、来街者をどこまで期待するか、外国人や観光客に対する受け入れのスタンスを先に決めて、景観的にも方向性としても煩雑になってしまわないようにして欲しい。	「武蔵野市景観ガイドライン」等に基づき、関係者との十分な対話・調整をもって進めていく必要があると考えます。
57	11		滞留空間の確保について ・「オープンカフェの整備とその立地環境の向上」のコメントを加える。	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
58	11		街並みの創造 ・吉祥寺にはランドマークや歴史的建造物がない。古い建物や歴史を後回しにした結果だと思う。吉祥寺は、もともと駿河台の町人によってつくられた街だ。南口バス通りの整備の際に自動車侵入禁止とし、江戸時代の町屋の町並みを整備し、人だけが安心して通行できるようにしたほうが良い。	南口駅前広場を整備することにより、南口のパークロードのバス通行を無くすことができ、歩行者優先の空間創出につながります。商店街がどのように変化していくかは明確ではありませんが、安心して憩える空間となることが期待されます。
59	11		玉川上水の水運整備 ・玉川上水はかつて水運事業が運行されていた。今は水量が制限され活用されていない。水運整備を行うことで、観光や運送など活用が広がると考える。	玉川上水は井の頭公園と一体となった水辺空間として貴重な役割を持っており、地域資源の一つとも言えると考えます。いただいたご意見を参考にさせていただきます。
60	11		新たな項目として「文化の振興に向けた情報発信」を加え、「来訪者が当日に楽しむことのできる吉祥寺地域の多様なイベントに関わるアナログ情報（掲示板）、デジタル情報の発信体制づくり」を記述する。	「案内・サインの整備・充実」における来街者へのおもてなしに含まれるものと考えます。

No.	素案ページ	項目	意見内容	対応方針
61	13	居心地の追求	吉祥寺は現在も人気のある街でたくさんの人が訪れ、活気に溢れる良いところだが、キャパオーバーの感が否めず、週末は魅力が伝わる前に雑踏で疲れる街になってしまった。駐輪場数はだいぶ増えて歩きやすくなったが、まだまだいつも大行列だ。デパートなどの大型商業施設の進出はもう見込めないため、緑の多さを生かし軽井沢的な雰囲気前面に押し出してはいかか。ペットに優しい場所を少し離れたところに設置すれば多少遠くても飼い主は足を運び、雰囲気の良いカフェがあれば不便でも朝から並ぶ。もう少し中心部から人を拡散する必要があるのではないかと思う。公園や緑道、境のドッグランの、また、成蹊大学そばの旧赤星邸など、魅力的なところがたくさんあるので、そういう場所を利用して豊かな自然の中で子供も大人もペットも深呼吸できるような街になればいいと思う。	改定委員会等の議論の中でも、人が多すぎて歩きづらい、滞留しづらい、という意見が多くなりました。それらを受けて、「居場所」や「居心地」といったテーマが生まれた経緯があります。ご意見にありますように、緑や自然、生き物、ペットといった要素も鑑みて、いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
62	13		「人と人とのつながり」の中に、「多文化共生のコミュニティ」を加え、「ダイバーシティ社会のモデルとして、外国人、障がい者、高齢者などを含むあらゆる立場の人々が相互に支え合うまちをつくる」を記述する。	ご意見の趣旨は、「誰もが心地よく過ごす」というテーマの中に広く含まれているものと考えます。
63	13		人と人とのつながりについて ・吉祥寺の次世代を担う地元の子供達への教育、自分の故郷としての愛着心を育てる という意味合いで、「子ども」というキーワードを是非入れて欲しい。次世代の街の担い手として、故郷として暮らし続け、街を共に作り上げていく人材の育成に大きく期待する。	本文中に「すべての人々に優しく」との表現があり、「継承する取り組み」「地緑線の補完」などには子どもも含まれた概念であると考えます。
64	13		条件に適した建物の更新等について ・建替えのタイミングで、景観に十分配慮できるような、吉祥寺景観条例（武蔵野ルール）を先行（または並行）して作り、実行して欲しい。	「武蔵野市景観ガイドライン」等に基づき、関係者との十分な対話・調整をもって進めていく必要があると考えます。
65	13		バリアフリーの徹底について ・対象をどこに置くのが明確でない。対象者は、現状、まちの利用者の中で不自由を感じている人全てであるべきで、社会的弱者に限らず、犬連れの人も対象に含める必要がある。	本文中に「すべての人々に優しく」との記載があり、これはペットなどを連れた方も含めた概念での表現としています。
66	13		帰宅困難者への対応について ・現状として、毎年実施している訓練でもわかるように、帰宅困難者を十分に受け入れる余裕はない。駅周辺の公共施設の充実が必要。	駅周辺の公共施設は限定されますが、毎年実施している帰宅困難者訓練においては協力施設への誘導・働きかけ等を行っています。
67	13		防災都市の強化 ・指折りの乗降者数を誇る吉祥寺ターミナルだが、いざ災害となると帰宅困難者が溢れるだろう。中途半端な規模では追いつかないレベルだ。吉祥寺の地下に耐震人工地盤をつくり、防災センター、防災待機所、吉祥寺版バスタなどを整備すると良い。	災害時の帰宅困難者対策については、東日本大震災以降、商業者・鉄道事業者・交通事業者・行政等により議論を重ね毎年訓練を実施しています。今後も、より実効性のあるものとする必要があります。
68	13		街全域での快適で切れ目のないインターネット環境の整備について ・吉祥寺の悪い点として、同じようなことをあちこちで単独する傾向がある。それならば大きく全体で1つにまとまるものが出来たら良いと感じる。商店街ごとではなく、商工会も含め、観光、消防や警察、市とも連携できるような大きなものになると良い。	現在、地域におけるWi-Fi環境の整備は武蔵野市開発公社が中心となり、商店会と連携して進めています。さらに広いエリアで有効な環境を整える方法を今後検討する必要があると考えます。
69	13		新たな項目として「美化環境の創出」を加え、「看板類の規制誘導策に検討や先行的な屋上看板の規制誘導を検討する」、「街並み景観の向上に向けた色彩の誘導等を検討する」を記述する。	「武蔵野市景観ガイドライン」等に基づき、関係者との十分な対話・調整をもって進めていく必要があると考えます。
70	13		新たな項目として「緑化の促進」を加え、「屋上緑化、壁面緑化とともに公開空地等へのシンボルツリーの植栽を奨励する」を記述する。	吉祥寺のような商業地において、緑、自然を拡充することは難しいですが、まちの重要な要素として認識しています。いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
71	13		オーバーツーリズム ・人が集まる魅力ある街として、ただぞろぞろ人が歩いているだけではなく、滞在して心地よい街、いつも居たい街であって欲しい。	まちづくりのテーマとして「居心地の追求」においてご意見の趣旨について表現しています。

No.	素案ページ	項目	意見内容	対応方針
72	14	エリア毎のまちづくり	P.14からP.21について ・字が小さい。	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
73	14		エリア特徴は列記されており、的確ではあるが、ハード的なまちづくり素案に偏っている。	貴重なご意見として賜ります。
74	15	セントラルエリアのまちづくり	ハーモニカ横丁の防災化 ・木密の代表であるハーモニカ横丁の防災課題を放っておけない。最低でもハニカム型の延焼遮断壁などをつくり延焼をくい止める対応が必要。	ハーモニカ横丁の防災性の向上、災害対策は大きな課題と認識しています。手法につきましては様々考えられるため、今後も引き続き議論が必要と考えます。
75	15		ハーモニカ横丁について ・現横丁地区を総2階建てにし、1階は消防施設完備のままの姿として2階に新ハーモニカ横丁として新境界性を創出し、屋上はすべて植樹のある緑の公園に。この公園は旧デパート群に代わって北口商店街のシンボルに。	
76	15		多種・多様な質・価格の床の提供について ・「賃料負担力が高くないでテナントの誘致推進」のみでなく、逆に誘致しないテナントの基準も明記した方が良い。「多種・多様なテナント」であっても、例えば「反社会勢力が関係する」、「まちのイメージを低下させる」可能性のあるテナントなどは誘致しないという、まちづくりに対する確固とした方針を明記した方が良い。	テナント選定についてはオーナーの裁量による部分が大いところですが、現状でも粗悪なテナント誘致の考えはないと捉えています。
77	15		多種・多様な質・価格の床の提供について ・供給しますと断言できるのか？根拠が不明瞭。	改定委員会等においては方向性を示すまでにとどまり、有効な具体策までの議論には至りませんでした。今後も引き続きその方策の検討が必要と考えます。
78	15		多種多様な質・価格の床の提供について ・「居住空間の供給」とあるが、セントラルエリアにおいて、ホテル的な居住空間の可能性はあるが、賃貸住宅やシェアハウスはセントラルのイメージではないと考える。職住一体型の賃貸住宅等であつたとしても、セントラル以外のエリアでの展開が望ましい。セントラルエリアは、他のエリアとは違い住宅がない（少なくとも現段階でウルカムではない）ことを強みにしていくべきエリアであると考えらる。	商店等の上層階の利活用は今後の大きなテーマと認識しています。高齢者だけに限らず職住近接の考え方は、エリアや用途を含めいくつかの可能性や選択肢があると考えております。引き続きその方策の検討が必要と考えます。
79	15	多種・多様な質・価格の床の提供について ・商店街の上層に高齢者のシェアハウスや、セキュリティー、見守りの機能を備えて住宅を作るのも、買い物に歩きづらくなった高齢者の暮らしやすい街になるのではないかと同時に商店街の在り方も転換していく必要性もある。		
80	15	駅北口ロータリーから吉祥寺通りへ抜ける平和通り出口付近にタクシー乗り場を新設する。吉祥寺大通りのタクシーの客待ち停車による渋滞解消に寄与すると思われる。	タクシー乗り場の新設については、駅周辺の交通体系全体を検討する中で整理していく必要があると認識しています。	
81	15	徹底した歩行者優先の都市空間の実現について ・居住者への配慮が課題。自家用車以外にも、例えば介護認定や、福祉協議会などと連携して、居住者の為のタクシー通行バスのようなものがあれば良い。ただ規制していくだけでなく、そうした居住者への配慮も同時に考えてほしい。	貴重なご意見として賜ります。	
82	16	ウエストエリアのまちづくり	同じような内容の記載が多い	表現を工夫します。
83	19	イーストエリアのまちづくり	オデオン座、パローレ1の裏の道を境に商業地域から近隣商業地域となり、ここの境界道路は私道の為、幅が4メートルなく、10年位前に火災があった時にバスが入る事が出来ず、消火作業に手間どった。この道の土地所有者がわからないため、街路灯に係る修繕補助要請が難航し、またエリアの活性化にもマイナスとなっている。	貴重なご意見として賜ります。
84	19		ビジネスホテルの申請にもかかわらずラブホテルを営んでいるオーナーや特殊風呂を違反して営業している風俗店がある。そのために用途地域の見直しが出来ないのか？行政の考えを伺う。	用途地域の見直しについては、都市計画法に基づく手続き等が必要になります。現在都市計画マスタープランの改定が行われているところであり、その中で十分な議論が行われることを期待します。
85	18		「新たな芽を育てながら、まちの質を転換」の誘発手法においては、多様性と容認性が共存する	ご意見のとおりと考えます。「吉祥寺の強み・良さ」においての多様性と受容力について評価を行っております。

No.	素案ページ	項目	意見内容	対応方針
86	18	イーストエリアのまちづくり	イーストエリアのまちの質を転換について 言葉に少し違和感がある。現在の状況に対して、質が悪いという意味合いを、配慮してわざと言葉を濁しているという事か？ 向上という意味合いや、率直にランクアップの意味を入れた方がわかりやすいのではないかな？	現状は地区の持つ高いポテンシャルをまだ十分に発揮できていない状態であるため、今後の方向性を示す意味での表現としました。
87	18		エリアの形成 ・イーストエリアの根本的な問題。吉祥寺大通りは、井の頭通りと五日市街道を結ぶだけの道なので、今のような広さが必要なのか疑問。土日に道路を有効に使う社会実験をし、イーストエリアの孤立を払拭できる方向性を何か見い出せたら良いと思う。	ご意見のとおり、広場等の空間が少ないため、今後は道路区域等含めた空間の有効活用への工夫が必要と考えています。「街の可能性を探る社会実験の実施」において、吉祥寺大通りの利活用についての記載があります。
88	19		公民連携による支援について ・「公民連携」がこのエリアでのみ強調されている点に違和感がある。イーストエリアだけでなく、他のエリアでも公民連携は必要な概念である。ここでは、「公民連携」より「芸術・文化活動の創発」といった、エリアをどうしていきたいかというワードとしたほうがよい。	
89	18		イブニングタイムの「大人の健全な居場所づくり」を推進しますについて ・この地域の現況は子どもが立ち入り辛い地域であり、実際に子どもに通ってはいけないという親もまだに少なくはない。大人をコンセプトにしてしまうと、子どもの立ち入り辛い環境は結局は今と変わらないと思う。エリアゾーン分けしたいのかもしれないが、ここは吉祥寺の駅周辺で新しい駅前顔を作る最後の未開の地とも言える貴重な場所であり、つくり方次第ではウエストエリアと同レベルの価値を発揮できる場所でもある。また、東町地区の住民にとっては、本来駅と家をつなぐ生活道路であった場所を、環境の悪化により避けて通らなくてはならなくなってしまっているのも事実。子どもが日常的に安心して通れるエリアとして、子どもも普通に来る目的のある、利用できる場所の案を考えたい。	イーストエリアは駅至近にあり、高いポテンシャルを有した地区と認識しています。また住人も多いことから、住商複合市街地として発展する要素を大切にする必要があります。ナイトタイムでなくイブニングタイムとしているのは、夜間ではなく少し早い時間帯にあくまでも健全な場づくりをすることによりエリアの魅力を見出し、大人も子どもも安心して過ごせる街を目指すという意味を込めています。
90	19	環境浄化テーマの、拡張性や合意可能性を、活用した仕組み作りが望ましい。	貴重なご意見として賜ります。	
91	19	イーストエリアの新たな芽は「吉祥寺で仕事」、土地柄は「POPup」で、コンセプト化し創造の拠点エリアとなり得る。	「新たな芽」というのは広い視野で捉えるべき事項と考えますので、仕事に特化したものではありませんが、いただいたご意見を参考にさせていただきます。	
92	19	吉祥寺東部街づくり協議会を、コア団体にしたプロジェクトチームで、行政ポテンシャルと連携したまちづくりを行う。	既に地元や行政等と情報共有など行っていると伺っています。	
93	19	地域と様々な関係者が、社会実験を共有体験し、40年間環境浄化のみがテーマであった吉祥寺イーストエリアを、新たなビジネス・情報集積と発信の拠点とするエリアに創造するタイミングであると考える。	ご意見のとおりと考えます。	
94	21	パークエリアのまちづくり	「井の頭公園」が唯一無二のものであることは勿論だが、エリアの形成、その他にも「武蔵野公会堂」の存在も、とても大きなものであり、パークエリア全体にとっても重要な存在であるので、もっと議論すべき。公会堂の更新は縮小の方向はありえずスケールアップを第一に考えるべき。	公会堂の文化施設としての役割は委員会でも議論がありました。文化施設のあり方とエリアのまちづくりの視点から更なる議論が必要と考えます。
95	21		単に井の頭公園の延長でなく新しい切り口の奥深い井の頭公園を巻き込む吉祥寺駅南口地区とする。近隣を見据えると井の頭公園、井の頭文化園、ジブリの森、玉川上水風の散歩道、三鷹駅南口中央通り東地区再開発など三鷹市と協力して両市民、来訪者にとって今までにない一大憩いの場、観光スポット	井の頭公園は吉祥寺にとって大きな環境資源であり、南口（パークエリア）一体のまちづくりを検討中でも貴重な位置づけです。いただいたご意見を参考にさせていただきます。
96	21		JR及び井の頭線改札口レベルからベデストリアンデッキを通じての2階部分の有効利用、そのまま2階部分デッキのある商店街を通過して、夢のような複数のブリッジで井ノ頭通りを渡る。このブリッジが吉祥寺の顔になる。	バス・タクシー交通や安全性を考えると、複層レベルでの検討による歩行者交通の可能性はあります。ただし、道路上高さ・歩道橋（デッキ）の降り口の課題等は慎重な検討が必要と考えます。
97	21		井ノ頭通り沿いの2階歩廊での井の頭公園からの緑の空気、身体が心地よいと感じる外部環境が欲しい。	井の頭公園の自然環境を感じることができる仕掛けは必要であり、手法等については今後も検討を続ける必要があると考えます。
98	21		井の頭公園に向かう大勢の家族連れが井ノ頭通りを渡るのに並んでいる。この問題も具体的に表現する必要がある。井ノ頭通りは井の頭線が横断している。そこまでの高さなら、駅前に造っても問題ないのではないかな？	南口（パークエリア）全体のまちづくりを考える際、歩行者を含む交通環境の改善も大きなテーマとして捉えていますので、「抜本的な交通環境の改善」に含まれると考えます。

No.	素案ページ	項目	意見内容	対応方針
99	21	パークエリアのまちづくり	井の頭公園へ誘う空間の整備について ・「井ノ頭通りを立体的に横断」「井の頭公園にアクセスできる歩行者動線」というのは、駅から直結するペDESTリアンデッキを作るとのことか？パークロードの整備は必要だと考えるが、ペDESTリアンデッキがまちの雰囲気を変えてしまった例は他の駅前にも多く、デッキの下になる場所のこと、まちの顔が変わってしまうことを考慮し、慎重であるべき。	井の頭公園への良好な、歩行者アクセスについて議論がある中で、複層利用の可能性についての記載をしています。具体策の検討までは到達していません。今後関係者、関係機関との調整を重ねる必要があると考えます。
100	21		「井ノ頭通りを立体的に～」とあるが、具体的にはどのような見通しや計画のイメージに基づいているのか。計画内容によっては、景観を大きく変わる可能性があると考えられるが、この部分の記述は曖昧なため具体的に示して欲しい。	
101	21		井の頭公園へ誘う空間の整備について ・ペDESTリアンデッキのようなイメージのものを作ると言う様に取れるが、吉祥寺には北口にも南口にもそのようなものは無い方がよい。	
102	21		親しみ易い公共的なスペースの提供のためにも、バス交通の変更のためにも部分的に市道であるパークロード上部の有効利用の特別地域とするのも将来に対するひとつの決断と思う。そのためにも南口駅前広場イメージを知りたい。	貴重なご意見として賜ります。南口駅前広場の形態については、既に警視庁との協議が進んでおり公表しています。
103	21		バス停の問題について、バス会社にも具体的協力を仰いでよいのではないかと？	交通事業者との協議は必須と考えており、相互に連携しながら検討を進めるべきと考えます。
104	21		「パール通り」をバリアフリールートとして整備することは大賛成。障がい者、子供、お年寄り、誰もが（外国人を含め）安心して気持ちよく「井の頭公園」にアクセスできる通りにすることはとてもよいこと。「パール通り」には「武蔵野公会堂」もあり、通りに面する店舗にもバリアフリー対応をとって頂きたい。	公共施設だけでなく、民間施設におけるバリアフリー化も推進しています。街全体で多様化への対応ができることが理想と考えます。
105	21		公会堂の有効活用 ・吉祥寺南口には広場がなく、防災の観点からも課題。地下に多くの観客を動員可能な公会堂をつくり、地上は野音や各種イベント、一時避難所、緊急ヘリポートなどの多目的スペースを整備すると良い。	公会堂については、文化やまちづくりの視点から様々な議論が現在も行われています。現状でも災害時の受入施設の側面も持っており、今後そのあり方が示されていくものと認識しています。
106	21		吉祥寺駅南口再開発を早期に進めて欲しい。	南口の再整備については、様々な手法があり、法定再開発事業もその一つです。今回のランドデザイン改定の方角性を踏まえ、パークエリア全体のまちづくりを考える必要があります。
107	21		駅南地区に防災拠点として可能な構造の建物を建築すべき。公会堂も防災拠点（自律分散型）として使用可能にする。これからは住民にとってもすべての来訪者にとってもいつ地震が来ても安心安全な街という印象を与えることが総てに優先だ。	老朽化しつつある公会堂の今後のあり方については現在様々な議論を行っているところですが、災害時には混乱防止対策の一要素となっています。
108	21		公会堂の前面は、緑と水のある空間を作り、夏にはホタル、秋にトンボの飛び交うようなビオトープを作って欲しい。市の花「ムラサキ」も咲かせたい。道には街路樹「花水木、コブシ」を。	井の頭公園へのアクセス路であり、緑や風を感じられる空間となる仕掛けが必要と考えます。表現を工夫します。
109	21		武蔵野公会堂の建て替え ・周辺と連携し、総合的なものとして整備することを望む。その大々的な整備は従来の道路にしばられることなく、大街区を想定し、吉祥寺駅に接しているパークロード、又は井ノ頭通りとの三角地帯全てを更新するような大街区を設定すべき。第六期長期計画案に書いてあるように「井ノ頭通り」も優先整備路線に選定し、東京都とも連携して拡幅事業化すべき。	吉祥寺の魅力は適度なスケール感を保ち、雑多な雰囲気を感じられることであり、まちづくりの視点では、パークエリア全体として広く将来像を掲げています。
110	21		南口駅周辺、井ノ頭通りまでのエリアを社会の潮流を踏まえつつ、段階的に建て替えてほしい。	ご意見のとおりと考えます。建て替えの難しいエリアではありますが、防災安全や交通環境の改善に向けた取り組みが必要と考えております。
111	21		文化の拠点・飲食・環境ビジネス、医療、教育、観光、運営者中心のファッション等すべての情報発信、デジタル社会も予測してテレワーク用住居などを利用して新しい産業の立ち上げ、さらには新しい概念での界隈性を作り出してほしい。	現在すでに構築されている界隈性は吉祥寺の特徴と考えます。今後は多様な業種や関わるの方々により、新たな界隈性の形成がなされるものと考えます。
112	21	公民一体となり武蔵野市独自の手法で進めて欲しいものです。	ご意見のとおり「公民連携」は吉祥寺全体に係るテーマとの認識です。	
113	21	将来キラリナ、井の頭線吉祥寺駅、JR吉祥寺ビル、丸井他との井ノ頭通りの横断ターミナル構想も面白いと思う。	貴重なご意見として賜ります。	

No.	素案 ページ	項目	意見内容	対応方針
114	21	パークエリアのまちづくり	「人と自然が共生する「生物多様都市」をめざす」を加え、「井の頭公園の自然環境を活かし、人の生活と自然環境がともに豊かになっていくような先端的な都市づくりを進めます」と記述して欲しい。	いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
115	21	エリアごとのまちづくり	「老朽化建物の補強・リノベーション・更新」については、吉祥寺全体に言えることです。特にパークエリアはセントラルエリアよりも老朽化については深刻な状況なので、パークエリアにも同様に老朽化対策について記載すべき。	ご意見のとおりと考えます。建て替えの難しいエリアではありますが、防災安全や交通環境の改善に向けた取り組みが必要と考えております。表現を工夫します。
116	21		2019年3月に東京都より都市づくりのための都市開発諸制度の活用方針が出され、パークエリアも「重要な地域の拠点地区」に指定された。これを改定するランドデザインに大きく反映させてほしい。	今後のまちづくりの中で活用できる法制度について研究をすべきものと考えます。
117	21	パークエリアのまちづくり	地元関係者が組織している「吉祥寺南口駅前地区再開発準備組合」は「市民」に当る訳だから、準備組合とはより一層力を合わせていってほしい。	貴重なご意見として賜ります。
118	21		1つ1つの建物を建て替えるのではなく面として考え、南口駅前及び周辺が災害拠点有しながら市街地再編し、次の世代に引き継がれるまちづくりを願っている。	ご意見のとおりと考えます。建て替えの難しいエリアではありますが、防災安全や交通環境の改善に向けた取り組みが必要と考えております。
119	22		それぞれそこに関係する関係者がそれぞれの役割を認識して連携・協議して推進することが第一で、市民、利用者はその立場から発言し、またその意見が速やかに反映されるようなシステムがあると良い。	貴重なご意見として賜ります。
120	22		関心のある市民を集めてエリアワークショップを行い意見を集約し、その後2層構造の策定委員会を何回も開いて検討、討議を行い、市長を入れた幹部会議を行い、出来上がったものが「共通指針となることを狙ったもの」であり、更に「今後のまちづくりに関わる様々な関係者の役割と相互連携・・・」。あの委員会は多様な関係者だったのじゃないかといいたくなる。確かに関係者の一部じゃなかったか。本気で改定するならあえて多様な関係者も入れるべきだったのではないか。	多様な立場の方々に委員会・幹事会・エリアワークショップ等に参加いただき、たくさんの意見をいただき、議論を行いました。
121	22	吉祥寺ランドデザインの推進に向けて	街の可能性を探る社会実験の実施について ・誰が行うのか？主体と方法（具体的な提案）が欲しい。	今後、実施する社会実験の内容に応じて、さまざまな主体が関わることになると考えます。具体的な議論を継続する必要があります。
122	22		街の可能性を探る社会実験の実施について ・公民にかかわらず、まちの空間資源を使いこなすというテーマで、施策アイデア抽出を行う手法を採択する。	
123	23		街の可能性を探る社会実験の実施について ・イーストエリアなどの社会実験は、行政支持が必須で、国交省民間まちづくり活動促進事業などが有効。	貴重なご意見として賜ります。
124	23		街の可能性を探る社会実験の実施について ・「居場所づくり」では、LQC(手軽に、早く、安く)手法で、実験を繰り返し行い、地域の熱意を喚起する。	
125	23		街の可能性を探る社会実験の実施について ・「ここちよい居場所」の起爆剤投入は、プロジェクト化し、継続的なパートナーの発見が重要。	
126	23		「NEXT-吉祥寺」などの行政計画への反映について ・吉祥寺ランドデザインのまちづくりの方針は誰が決めた方針なのか？	ランドデザインは改定委員会として発行するもので、様々な関係者による議論において決定しています。一方、「NEXT-吉祥寺」は市が策定します。
127	99	参考資料	「今後の取り組みの参考となる事例」について ・もし多様な主体の協働による取り組みならば、単に参考資料とするだけではなく、重要な事例として本文の中で位置づけ、理由を説明し、そのような取り組みを発展させることを目的として示した方がよいのではないか？	貴重なご意見として賜ります。

No.	素案 ページ	項目	意見内容	対応方針	
128	99	その他(具体性)	方向性は十分理解できるが、もう少し具体性があれば議論が進むように思う。	各会議における議論は、具体の事象をイメージしつつ行われており、結果として記載されている方向性が示されています。	
129	99		どの都市も、ほぼ似たようなランドデザインでは議論が深まらない。キャッチフレーズだけのように思えて、具体的な規模感や目標イメージなどが見えにくいように感じる。ある程度の政策や取組の方向付けが欲しい。せっかく改定するならもう一步踏み込んで「こんな風にしたいです」とイメージしやすい形で提案してくれたら議論やアイデアも出るのではないかと。オーバーラップを恐れることはない。	吉祥寺ランドデザインは先駆的に策定されたものと認識しており、今回の改定ではあらためてビジョンとして定めることとしました。具体の事業等については、それぞれの実施計画に基づいて進められるものと考えます。	
130	99		ステークホルダーを特定するにあたり、様々な関係者への波及効果が高いとする、手法が不明である。	貴重なご意見として賜ります。	
131	99		「界限性」「吉祥寺人」「吉祥寺の為」の客観的新規性や普遍性のある競争力が不明のままである。		
132	99		吉祥寺という街を構成する要素を言語化して書き込んでいくと、最終的には「いったいこの街の話なのか」分からなくなっている、というのが全体を通した印象。書き込めば書き込むほどありふれた街の話になってしまう。「街の空気感」は言葉にできる感覚ではない。		
133	99		課題を見つけるだけでなく、今方向性を決めなければ間に合わない。20年、30年後の未来像を描き、一歩進みどうすれば実現していけるのか、しっかりと議論をお願いする。		ご意見のとおりと考えます。
134	99		観光案内所を駅前に ・観光機構が駅から遠すぎる。サンロードのまち案内所の役割と統合したものが駅前にあった方がよい。		貴重なご意見として賜ります。
135	99	一時期サンロード入口の2階にガラス張りのFMステーションがあったような気がする。街の入り口で実況中継のような生の放送と、街に流れる音楽がすぐ心地よかった。むさしのFMが街を見渡せる場所に移動して、またそんな街と一体になった生きた放送ができれば良いと思う。			
136	99	自転車駐輪場について ・駐輪場が駅前の一等地を占拠しているのはもったいない。吉祥寺大通りの幅を狭くして地下に持ってくるとか、視認性のある場所にこういうものが出来たら良いと思う。	現在の自転車駐輪場のほとんどは暫定利用となっています。駅近くは利便性は良いものの、本来は外周部に設置することが望ましいと考えます。		
137	99	その他(人)	率直な感想としては街づくりの先進的で且つ、現実的だと感じた。ただ、人へのフォーカスをもっと強く欲しい。人を主役とした街づくり、古き良きものを残し人や自然にやさしい技術や感性で新しい町並みを作れるようにできると良い。	ご意見のとおりと考えます。	
138	99		お年寄りの買物について ・ファミリーだけでなく、単身者や高齢者が増える中で、本来の住人目線に立った買い物スタイルのお店が復活出来たら良い。デリ形式、量り売りのお店などは、ごみの削減、環境問題にも配慮できるし、ライフスタイルから変えていくまちづくりができると良い。		
139	99	その他(仕組み)	武蔵野市界隈には街が好きで面白い人が住んでいる。そのような人が能力を発揮し街づくりに参加できるような仕組みができると良い。	貴重なご意見として賜ります。	
140	99		ビジョンを実行するための、チームづくりが実際の活動においては、成果を出す可能性が高いのでお勧めする。		
141	99	その他(景観)	武蔵野市には高いビルは似合わない。	貴重なご意見として賜ります。	

No.	素案ページ	項目	意見内容	対応方針
142	99	その他(自然)	公開空地等におけるシンボルツリーの植栽も積極的に推進し、街中の緑の創出によるベンチやオープンカフェの立地条件の向上を図る必要がある。	吉祥寺のような商業地において、緑、自然を拡充することは難しいですが、まちの重要な要素として認識しています。いただいたご意見を参考に、表現を工夫します。
143	99		「緑」や「生物」や「自然環境」に関する書き込みない。少なくとも緑をどうするか書き込みは必要ではないか？	
144	99		緑化の事が一切書かれていない。緑を取り入れていく努力は武蔵野市の方針でもあるのだから、ランドデザインにも是非明記して欲しい。	
145	99	その他(感想)	バリアフリー、防災の他は、この前のランドデザインとさして変わらない。	まちづくりの大きな方向性については引き続き継承されるものと考えます。
146	99		吉祥寺ランドデザインは将来像を語る前に、その持てるポテンシャルと共に、問題点を明らかにすることこそ重要であると考え。論点（問題点）はもう既に明らかであってそれをいかに解決するかにかかっている。	貴重なご意見として賜ります。
147	99		ランドデザインの、まちをよくするためのハード整備は、街の管理視点では納得するが、発展性を感じない。	
148	99		自分の住む街を褒められればうれしいものだと思うが、「住みたい」と思っている人を、実は積極的に受け入れようとはしていない街なのではないかと思う。	
149	99	その他(質問)	吉祥寺には子ども(児童)は住んでいないのですか？	吉祥寺は商業エリアと近接して住宅が広がっています。ファミリー世帯の居住があるため、子どもも一定数住んでいます。
150	99		買い物はインターネットで済ませることができるようになってきた昨今、街歩きが好きな人はともかく、買い物をするために目的の店をあらかじめ調べて訪問する、あるいはスマホの地図アプリで案内されてしまうため、来街者視点では「界隈性」という言葉すらピンとこない。何か目的があって吉祥寺を訪れている来街者と、乗り換えや通勤通学で通過している来街者、吉祥寺周辺に住んでいて訪れる人がどれくらいの割合なのか、基礎的な調査をもとに議論しているのか？	確認できる様々な統計データを活用し議論を行いました。